

令和6年度 札幌市交通事業 予算の概要

軌道整備事業会計

1	予算総括表	1 頁
2	予算総括表 [上下合算] (参考)	2 頁
3	主要事業	3 頁
4	これまでの傾向	4 頁

高速電車事業会計

1	予算総括表	5 頁
2	主要事業	6 頁
3	これまでの傾向	7 頁

札幌市交通局

1 予算総括表 (税込)

路面電車

(軌道整備事業会計)

(単位：千円)

区分	収 入				支 出				収 支 差 引			
	項 目	6年度予算(A)	5年度予算(B)	差引増減(A)-(B)	項 目	6年度予算(C)	5年度予算(D)	差引増減(C)-(D)	6年度予算(A)-(C)=(E)	5年度予算(B)-(D)=(F)	差引増減(E)-(F)	
当年度 収支 入 及 び 支 出	經常 的 収 入	営業収益	879,000	827,000	52,000	営業費用	1,683,000	1,623,000	60,000	△ 804,000	△ 796,000	△ 8,000
		施設使用料収入	876,000	812,000	64,000	人件費	133,000	176,000	△ 43,000			
		その他	3,000	15,000	△ 12,000	経費	673,000	573,000	100,000			
						減価償却費	877,000	874,000	3,000			
	支 出	営業外収益	763,000	747,000	16,000	営業外費用	37,000	24,000	13,000	726,000	723,000	3,000
						予備費	5,000	5,000	0	△ 5,000	△ 5,000	0
		小計	1,642,000	1,574,000	68,000	小計	1,725,000	1,652,000	73,000	△ 83,000	△ 78,000	△ 5,000
		特別利益	6,000	0	6,000	特別損失	0	0	0	6,000	0	6,000
	計	① 1,648,000	1,574,000	74,000	計	② 1,725,000	1,652,000	73,000	③ △ 77,000	△ 78,000	1,000	
資本 的 収 支	企業債	682,000	664,000	18,000	建設改良費	2,161,000	1,619,249	541,751	収支差引(税抜)=当年度純損失			
	国庫補助金	0	1,000	△ 1,000	企業債償還金	237,000	215,000	22,000	④ △ 138,000	△ 135,000	△ 3,000	
	負担金	1,469,000	929,000	540,000	他会計借入金償還金	76,000	0	76,000				
					予備費	10,000	10,000	0				
	計	⑤ 2,151,000	1,594,000	557,000	計	⑥ 2,484,000	1,844,249	639,751	⑦ △ 333,000	△ 250,249	△ 82,751	
	当年度分損益勘定留保資金等	453,000	213,000	240,000					453,000	213,000	240,000	
	合 計	4,252,000	3,381,000	871,000	合 計	4,209,000	3,496,249	712,751	43,000	△ 115,249	158,249	
過年度分内部留保資金	△ 138,771	△ 23,522	△ 115,249						△ 138,771	△ 23,522	△ 115,249	
総 計	4,113,229	3,357,478	755,751	総 計	4,209,000	3,496,249	712,751	⑧ △ 95,771	△ 138,771	43,000		
(参考)一般会計からの長期借入金残高	539,000	615,000	△ 76,000					539,000	615,000	△ 76,000		
再 計								⑨ 443,229	476,229	△ 33,000		

※ 5年度予算は現計予算(4決算置換・繰越・補正を含む)である。

※ 6年度予算の一般会計からの長期借入金残高は、5年度末時点の残高615,000千円から6年度に償還する76,000千円を差し引いた539,000千円である。

※ 6年度予算の当年度分損益勘定留保資金等は減価償却費877,000千円と固定資産除却費122,000千円、長期前受金戻入△647,000千円、長期借入金流動負債計上額等107,000千円、引当金計上及び取崩額等の資金調整額△6,000千円を加えたものである。

2 予算総括表 [上下合算] (参考)

㊦ 軌道整備事業

※交通局予算

項目		6年度 予算	
経常 収入	施設使用料収入	876,000	
	その他	3,000	
	計	879,000	
	経常 支出	人件費	133,000
		経費	673,000
		維持管理費	479,605
		技術継承等負担金	22,295
		その他	171,100
	減価償却費	877,000	
	計	1,683,000	
	営業外 収入	763,000	
	営業外 支出	37,000	
	予備費	5,000	
差引	△ 83,000		
特別利益	6,000		
特別損失	0		
収益的収支差引	△ 77,000		
資本 的 収入	企業債	682,000	
	国庫補助金	0	
	負担金	1,469,000	
	計	2,151,000	
	資本 的 支出	建設改良費	2,161,000
		企業債償還金	237,000
		他会計借入金償還金	76,000
		予備費	10,000
	計	2,484,000	
	資本的収支差引	△ 333,000	
当年度分損益勘定留保資金等	453,000		
過年度分内部留保資金	△ 138,771		
合計	△ 95,771		
(参考)一般会計からの長期借入金残高	539,000		
総計	443,229		

㊧ 軌道運送事業

※(一財)札幌市交通事業振興公社予算

項目		6年度 予算	
経常 収入	乗車料収入	1,627,000	
	広告料収入	71,635	
	計	1,698,635	
	経常 支出	人件費	571,782
		経費	719,597
		施設使用料	876,000
		維持管理費	479,605
		技術継承等負担金	22,295
	その他	16,306	
	計	2,167,379	
	営業外 収入	518,206	
	営業外 支出	52,270	
	予備費	0	
差引	△ 2,808		
管理費	0		
費用配賦分	34,387		
諸税	0		
収益的収支差引	△ 37,195		
過年度分内部留保資金	△ 102,464		
合計	△ 139,659		

※乗車料収入については、令和6年12月1日から運賃改定を実施することを前提とした収入予算である。
なお、運賃改定については、北海道運輸局に認可申請を行い、認可を受け決定するものである。

㊨ 軌道運送事業 + ㊦ 軌道整備事業

項目		5年度 現計予算(A)	6年度 当初予算(B)	差引増減 (B)-(A)	
経常 収入	乗車料収入	1,547,419	1,627,000	79,581	
	広告料収入	55,178	71,635	16,457	
	その他	15,000	3,000	△ 12,000	
	計	1,617,597	1,701,635	84,038	
	経常 支出	人件費	721,714	704,782	△ 16,932
		経費	759,586	890,697	131,111
		減価償却費	874,000	877,000	3,000
		計	2,355,300	2,472,479	117,179
		営業外 収入	767,138	779,306	12,168
	営業外 支出	76,437	89,270	12,833	
	予備費	5,000	5,000	0	
	特別利益	0	6,000	6,000	
	特別損失	0	0	0	
管理費	0	0	0		
費用配賦分	34,684	34,387	△ 297		
諸税	0	0	0		
収益的収入	2,384,735	① 2,486,941	102,206		
収益的支出	2,471,421	② 2,601,136	129,715		
収益的収支差引	△ 86,686	③ △ 114,195	△ 27,509		
資本 的 収入	企業債	664,000	682,000	18,000	
	国庫補助金	1,000	0	△ 1,000	
	他会計補助金	0	0	0	
	負担金	929,000	1,469,000	540,000	
	計	1,594,000	2,151,000	557,000	
	資本 的 支出	建設改良費	1,619,249	2,161,000	541,751
		企業債償還金	215,000	237,000	22,000
		他会計借入金償還金	0	76,000	76,000
		予備費	10,000	10,000	0
	計	1,844,249	2,484,000	639,751	
資本的収支差引	△ 250,249	△ 333,000	△ 82,751		
当年度分損益勘定留保資金等	213,000	453,000	240,000		
過年度分内部留保資金	△ 117,300	△ 241,235	△ 123,935		
(参考)一般会計からの長期借入金残高	615,000	539,000	△ 76,000		
合計	373,765	④ 303,570	△ 70,195		

※施設使用料、維持管理費及び技術継承等負担金は、相殺している。
※5年度予算は現計予算(4年決算置換・繰越・補正を含む)である。

長期借入金残高を除いた資金状況 ④303,570 - 539,000 = ⑤△235,430

3 主要事業

(軌道整備事業会計)

路面電車

<車両基地改良事業等>

●電車事業所改良建築工事：R6予算1,516百万円（～R8※総事業費43億円）

【改修内容】

- ・車庫の拡張、耐震化のため、車庫・工場棟の建て替えを行うとともに、事務所棟も合築し一体整備する。令和8年度の完成を予定している。

【令和6年度の主な実施内容】

- ・事務所棟、工場棟南側の新築

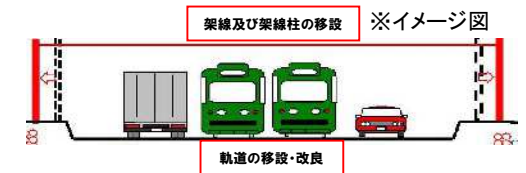


<軌道更新・街路拡幅関連事業等>

●街路拡幅に伴う電気設備工事：R6予算74百万円

●街路拡幅に伴う軌道改良：R6予算28百万円

- ・街路拡幅工事に伴い、架線柱、架線及び軌道の移設、改良を行う。



●情報活用システム機器更新：R6予算33百万円

- ・サーバー類の老朽化更新を行う。



<車両関係事業>

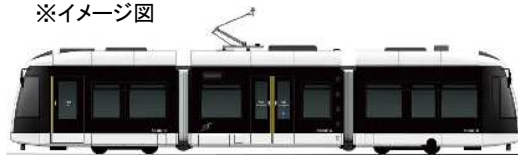
●低床車両製造：R6予算324百万円

【導入計画】

- ・令和6～10年度：5両（各年度1両ずつ導入予定）
- ・令和10年度には、全36両のうち18両が低床車両となる予定



※イメージ図



- ・バリアフリー対応の低床車両を導入する（14両/36両）。令和6年度以降は、従来の低床車両と比較して乗車スペースを広げ、輸送力を増強（シリウス60人→75人）させた新型低床車両を導入する。

●除雪車両用部品購入：R6予算53百万円

- ・ブルーム（回転部）関連の部品を購入する。



除雪車両(雪20形)

●既存車両改良：R6予算23百万円

- ・主電動機及び駆動装置の老朽化更新を行う。

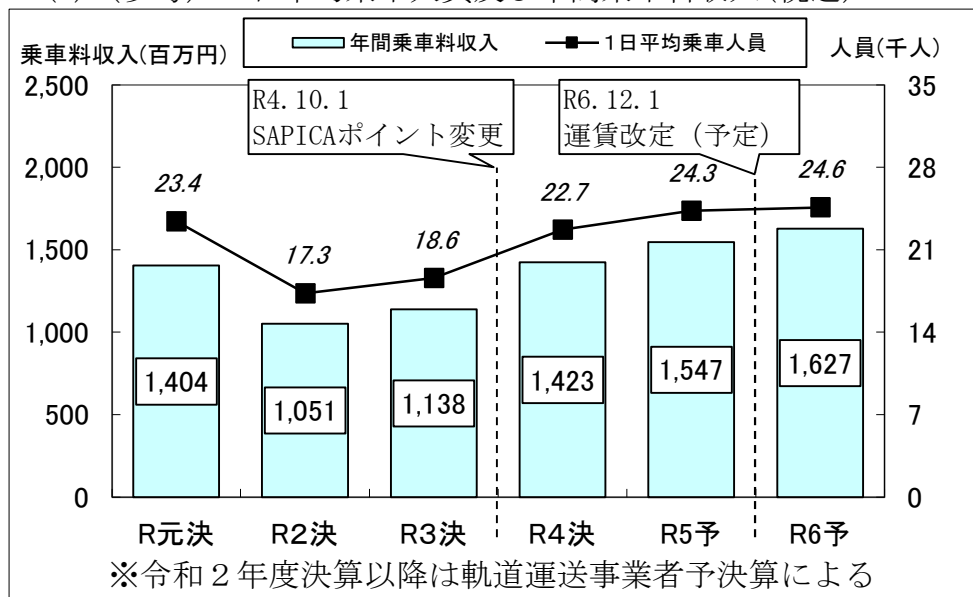


既存車両(8500形)

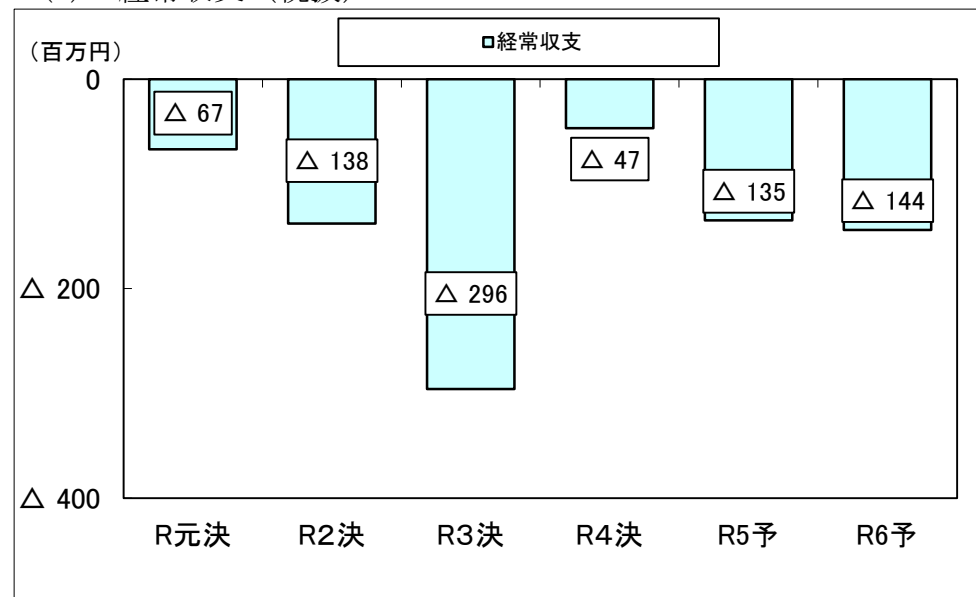
4 これまでの傾向

路面電車

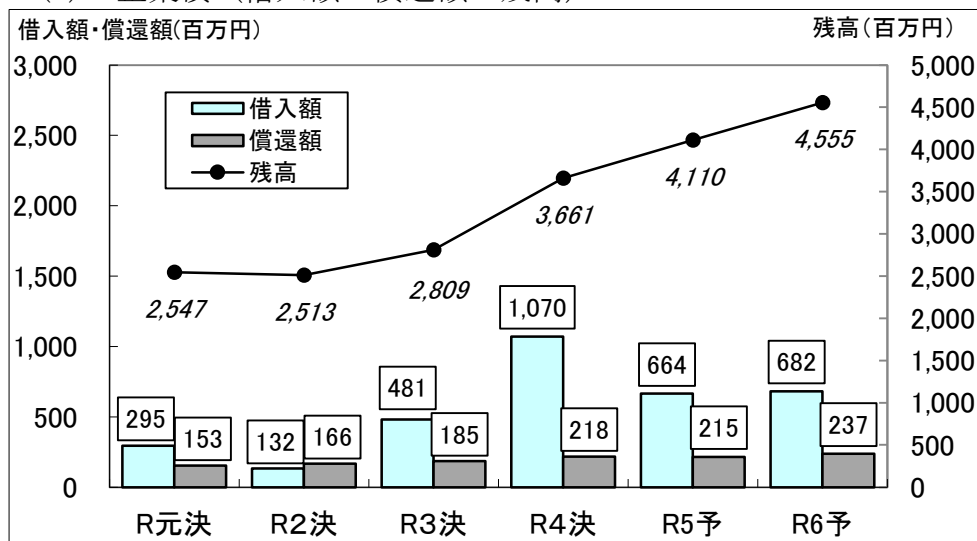
(1) (参考) 1日平均乗車人員及び年間乗車料収入(税込)



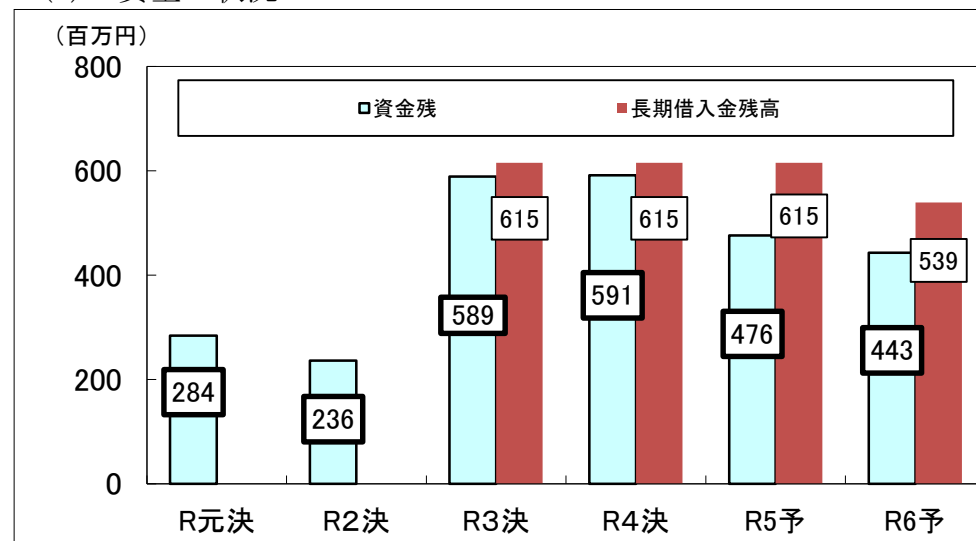
(2) 経常収支(税抜)



(3) 企業債(借入額・償還額・残高)



(4) 資金の状況



1 予算総括表 (税込)

地下鉄

(高速電車事業会計)

(単位：千円)

区分	収 入				支 出				収 支 差 引		
	項 目	6年度予算(A)	5年度予算(B)	差引増減(A)-(B)	項 目	6年度予算(C)	5年度予算(D)	差引増減(C)-(D)	6年度予算 (A)-(C)=(E)	5年度予算 (B)-(D)=(F)	差引増減(E)-(F)
当年度収支	経常収入				経常支出						
	営業収益	45,270,000	44,936,000	334,000	営業費用	40,059,000	38,551,853	1,507,147	5,211,000	6,384,147	△ 1,173,147
	乗車料収入	42,354,000	42,085,000	269,000	人件費	4,800,000	4,747,000	53,000			
	広告料収入	1,155,000	1,096,000	59,000	経費	19,907,000	19,032,853	874,147			
	その他	1,761,000	1,755,000	6,000	減価償却費	15,352,000	14,772,000	580,000			
	営業外収益	5,570,000	6,872,000	△ 1,302,000	営業外費用	3,623,000	4,266,000	△ 643,000	1,947,000	2,606,000	△ 659,000
					予備費	40,000	40,000	0	△ 40,000	△ 40,000	0
	小計	50,840,000	51,808,000	△ 968,000	小計	43,722,000	42,857,853	864,147	7,118,000	8,950,147	△ 1,832,147
	特別利益	0	0	0	特別損失	18,000	279,000	△ 261,000	△ 18,000	△ 279,000	261,000
計	① 50,840,000	51,808,000	△ 968,000	計	② 43,740,000	43,136,853	603,147	③ 7,100,000	8,671,147	△ 1,571,147	
入及び支出	企業債	12,942,000	12,741,000	201,000	建設改良費	19,189,000	16,668,470	2,520,530	収支差引(税抜) = 当年度純利益 ↓ ④ 5,688,000	7,605,147	△ 1,917,147
	うち特別減収 対策企業債	0	0	0	企業債償還金	16,943,000	18,626,000	△ 1,683,000			
	出資金	2,515,000	2,029,000	486,000	予備費	20,000	20,000	0			
	国庫補助金	1,589,396	847,944	741,452							
	他会計補助金	2,086,446	1,308,556	777,890							
	負担金	292,158	0	292,158							
	投資	0	2,500	△ 2,500							
計	⑤ 19,425,000	16,929,000	2,496,000	計	⑥ 36,152,000	35,314,470	837,530	⑦ △ 16,727,000	△ 18,385,470	1,658,470	
当年度分損益勘定 留保資金等	11,677,131	11,956,000	△ 278,869					11,677,131	11,956,000	△ 278,869	
合計	81,942,131	80,693,000	1,249,131	合計	79,892,000	78,451,323	1,440,677	2,050,131	2,241,677	△ 191,546	
過年度分内部留保資金	3,266,236	1,024,559	2,241,677					3,266,236	1,024,559	2,241,677	
総計	85,208,367	81,717,559	3,490,808	総計	79,892,000	78,451,323	1,440,677	⑧ 5,316,367	3,266,236	2,050,131	

※ 5年度予算は現計予算(4決算置換・繰越・補正を含む)である。
 ※ 5年度予算の投資は、(一財)札幌市交通事業振興公社への出資金のうち、出資比率の25%超過相当分の返還を受けるもの(3~5年度各2,500千円)である。
 ※ 6年度予算の当年度損益勘定留保資金等は、減価償却費15,352,000千円、固定資産除却費277,000千円、長期前受金戻入△3,613,000千円、引当金計上額及び取崩額等の資金調整額△338,869千円を加えたものである。
 ※ 6年度予算の地方財政法上の資金不足額は、総計5,316,367千円から特別減収対策企業債残高17,930,000千円を差し引いた額12,613,633千円である。

2 主要事業

(高速電車事業会計)

<駅舎施設設備の改修>

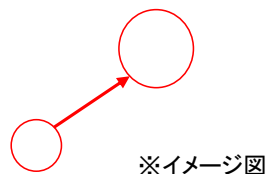
- 南北線さっぽろ駅改良事業：R6予算3,998百万円（～R10※総事業費110億円）



・現ホームを麻生方面専用、新ホームを真駒内方面専用とする。ホームにはエスカレーターを新設のうえ、新ホームには改札口を設置し、北4西3地区再開発建物と接続する。

- 南車両基地改築ほか工事（耐震改修等）：R6予算1,677百万円（～R15※総事業費321億円）
- 南北線シェルター耐震改修工事：R6予算1,543百万円（～R20※総事業費317億円）

- クレジットカードによるタッチ決済対応に係る改修：R6予算292百万円



・国内外旅行者の地下鉄の利用促進や利便性向上のために、クレジットカードによるタッチ決済の導入に向けた実証実験を行う。令和6年度内に機器改修等を行い、令和7年度春に運用開始予定。
・全46駅各改札口の1通路に対応リーダーを設置予定（全95台）。

<バリアフリー化>

- 段差隙間縮小に向けた駅ホーム改良工事：R6予算84百万円



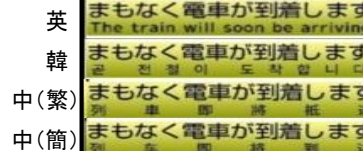
・車いす利用者やベビーカー等の円滑な移動を可能にするため、単独で列車を乗降しやすくするスロープタイル一体型くし状ゴムの設置により、車両とプラットフォームの段差と隙間の縮小に取り組む。

【改修計画】

令和6年度：4駅 令和7年度：24駅 令和8年度：21駅
(令和8年度で全駅完了予定)

<多言語対応>

- 案内表示設備更新工事：R6予算535百万円



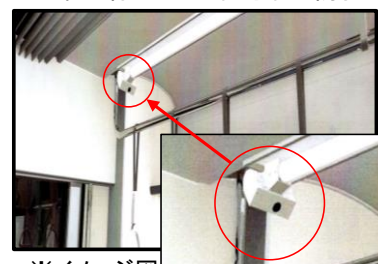
・札幌市を訪れる多くの外国人旅行者に対応するため、駅ホーム及びコンコースの案内表示設備を、LCD（液晶）化・多言語表記に改修し、利便性の向上を図る。

【更新計画】

令和4年度：2駅 令和5年度：11駅
令和6年度：12駅 令和7年度：10駅
(令和7年度で南北線・東西線全駅完了予定)
※東豊線全駅は平成27年度までにLED化・2言語表記対応済

<車両・工場機器設備の改修等>

- 東豊線9000形車両車内防犯カメラ設置：R6予算20百万円



※イメージ図

・車両内において、お客さまに危害を及ぼすおそれのある行為などを抑止するため、車内防犯カメラを仕様検討のうえ、順次導入する。

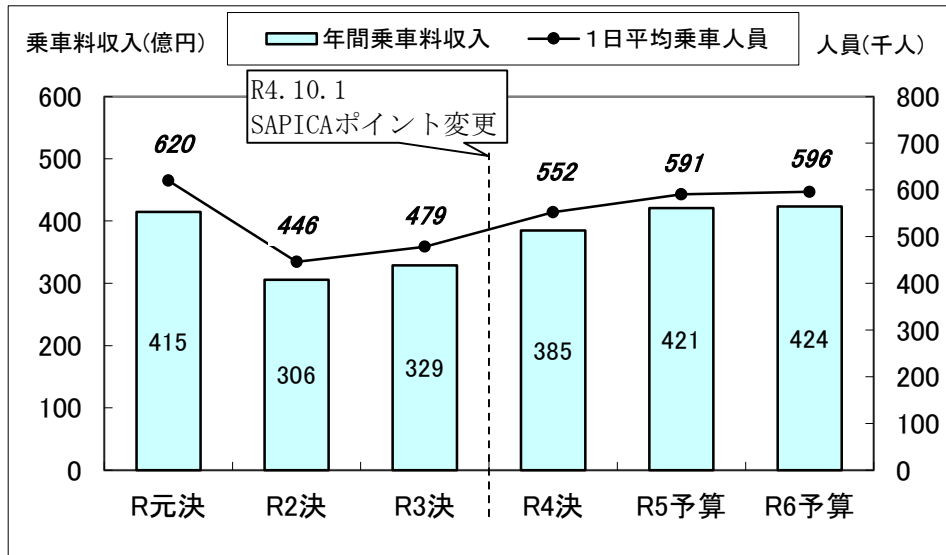
【設置計画】

東豊線：令和6～10年度
東西線：令和7～9年度
南北線：令和12～16年度（車両更新に合わせて導入）

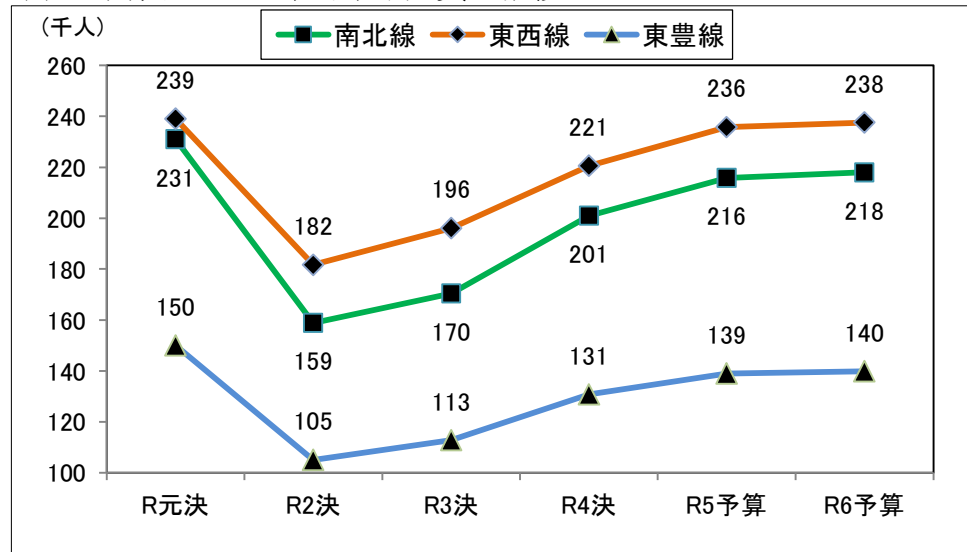
3 これまでの傾向

地下鉄

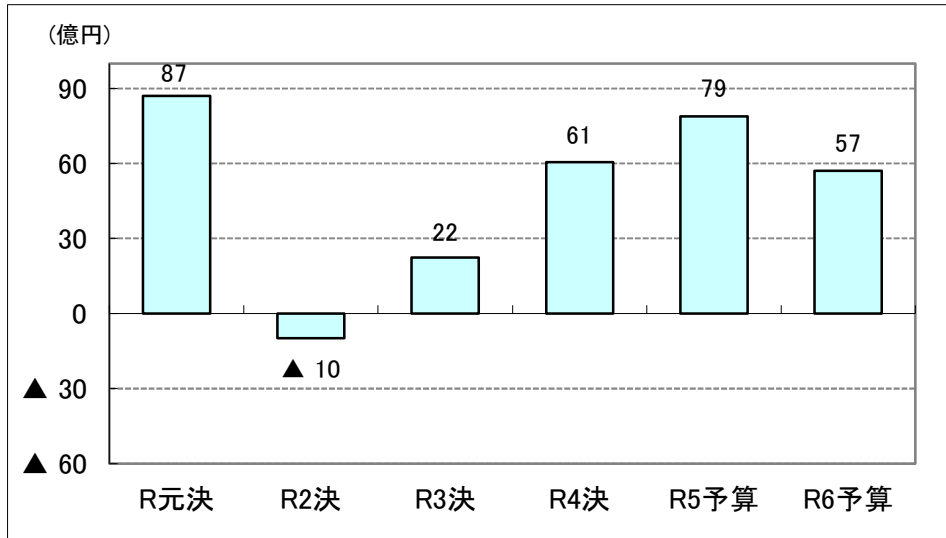
(1) 1日平均乗車人員及び年間乗車料収入(税込)



(2) 路線別の1日平均乗車人員の推移



(3) 経常収支(税抜)



(4) 企業債(借入額・償還額・残高)

